

# 黒川小だより

**SINCE2013**  
胎内市立黒川小学校  
令和7年11月20日  
NO.7



## 総合的な学習を学ぶこと

校長 児玉 泰裕

11月に入り、2学期の教育活動も残り1ヶ月あまりとなりました。今年度の教育課程の要となる校内研修は、総合的な学習を窓口 to 探究力の育成を図ってきました。

年間通して地域の伝統行事を学ぶ4年生は、先月地域の伝統芸能の一つである「坂井の神楽舞」を継承する方々にお越しいただき、実際に目の前で神楽舞を鑑賞しました。百聞は一見にしかずのことわざのとおり、子どもたちは間近で神楽舞を見ることで「なぜ、こんな神楽舞をするのか、この踊りは他の地域も同じなのか」など、自分の地域にこんな素晴らしい伝統芸能『神楽舞』があることに驚きや喜びを感じていました。そして、子どもたちは、「この伝統をどんな手段でPRしていけばよいか」ということを考えたいと思うようになりました。



このように4年生は「地域の伝統芸能」、3年生は「地域の自然」、5年生は「米粉」、6年生は「働く」ということをテーマとして自分たちで問題を持ち、解決手段を考え、地域の力を借りながら解決していくことを繰り返して探究力を養っています。この総合的な学習には、正解がありません。それぞれの学年のテーマで学習し、見付けた問題を自分事としてとらえ、自分たちに何ができるか考えていきます。しかし、考えたことがただ一つの正解とは限りません。だからこそ、教室の中だけの学びにとどまることなく、地域の「ヒト・もの・こと」に働きかけて、その思いや願い・ニーズに耳を傾けていくのだと思います。そう考えると総合的な学習は正解のない問題の解決策を考えていく学びと言えるのではないのでしょうか。

9月、秋の集いでたくさんの方々の保護者の方々、そして地域の方々とお話しする機会がありました。ある方は、西日本にある都道府県の会社からのクレーム対応の際、誠意が第一と考え、実際現地まで足を運んで話を聞き、信頼を回復したそうです。

このように子どもたちが社会に出て向き合う問題には、教科書や専門書に正解が記されていない場合もあります。だからこそ、総合的な学習を通して答えが決まっていない未知の問題に果敢に挑戦し、自分なりの納得解を見出していくことが大切だと思います。そして、自分たちの考えた解決策が有効ではないと分かった時に、諦めずに新しい解決策を考えていくたくましさも必要です。このような人づくりが私たちの役目であると強く感じています。

## 胎内市教育の日～全校参観～

11月1日(土)、胎内市教育の日にたくさんの保護者・地域の方々にお越しいただきありがとうございました。毎年この日は、道徳の授業を公開しています。子どもたちの人権意識を高め、差別やいじめにつながる行為をしない、見逃さないという心を育みたいと願っています。

また、今年から初めてプログラミング学習も参観していただきました。外部から講師を招き、4, 5, 6年生が信号機や安全な車、節電ライト作りを教えてもらいました。

子どもたちは、真剣に考え、課題に取り組んでいました。



## 歌声に 想いを込めて ～ジュニア音楽祭～

11月14日(金)産業文化会館で、胎内市ジュニア音楽祭が開催されました。市内全小学校の4年生が一堂に会し歌の交歓をするものです。

黒川小学校4年生は、合唱曲「いのちのオーケストラ」を発表しました。この曲は、命のつながりや大切さを伝える温かい歌です。悲しいときも嬉しいときも周りの人と支え合いながら生きていくことの大切さを優しく教えてくれる曲です。

本番のステージでは、曲の想いが伝わる素敵なハーモニーを響かせることができました。



### 12月～1月の主な予定

#### 【12月】

- 1日(月)～4日(木) 個別懇談会
- 10日(水) あいさつの日
- 22日(月) 給食最終日(全校4限)
- 23日(火) 授業短縮(3限後下校)
- 24日(水) 2学期終業式
- 25日(木)～1月7日(水) 冬季休業

#### 【1月】

- 8日(木) 3学期始業式
- 9日(金) 給食開始(全校4限)

### <4年生PTA行事>

11月11日(火)「二分の一成人式」を行いました。子どもたちはそれぞれの「将来の夢」を発表した後、家族への手紙を色紙に書いてプレゼントしました。最後にジュニア音楽祭に発表する「いのちのオーケストラ」を歌って感謝の気持ちを伝えると会場の体育館は温かい雰囲気になりました。



黒川小学校のホームページは日々更新しています。学校の情報はホームページでも確認してください。

黒川小学校ホームページ



<https://tai-nai-kurokawa-es.edumap.jp/>